

(様式4)

令和4年度自己評価結果報告書

学校名 湯梨浜町立 泊小学校

校長名 栗原 歳盛 印

1. 学校の教育目標

豊かな心と確かな学力を持ち、ふるさとを誇りに思い、未来を切り拓き、たくましく生きる児童の育成

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

(1) わかる授業の創造と確かな学力の育成

- 主体的対話的で深い学びを実現する授業力の向上をめざす。
 - ・校内授業研究会を充実し、学校全体での授業スタイルを整えながら授業力の向上を図る。
 - ・授業改善に取り組み、言語活動の充実を図る。
 - ・本時目標を明確にし、ペア学習・グループ学習を効果的に行う。
 - ・少人数指導、M I M指導、朝の活動、放課後学習等に取り組み、個に応じた基礎基本の定着を図る。
- 「家庭学習の手引き」や「家庭学習がんばりカード」を活用し、家庭学習の習慣化、自主学習につながる家庭学習へつなげていく。
- 読書の習慣化を進め、授業に関する図書活用を工夫するなど、図書館利用を推進する。
- I C Tを活用した教育を推進する。

(2) 豊かな心の育成

- 仲間づくりを中核にした人権教育を推進する。身近な課題に気づかせ、解決に向けた話し合い活動に取り組む。
- 児童理解を進め、特別支援教育の研修の推進を図る。
- 全校集会（しおかぜ集会等）の取り組みや縦割り班活動をより充実させる。
- いじめの早期発見、早期対応をめざす。定期的にいじめに係る事例検討会を開く。
- より良い言葉遣いのあり方について重点的に指導を進める。

(3) 健やかな体の育成

- 体力づくりを意識した体育学習を行う。児童が自分の目標を持ち体力づくり意識を持って体育学習をするように取り組む。
- 体力作り意欲を高めるためマラソン大会、縄跳び大会などに取り組む。
- メディアとのよりよい関わりを目指し、家庭と協力して、学習、研修を進める。
- 食育指導・保健指導を行い、健康な体づくりに関心を持たせるとともに、児童の基本的な生活習慣に関する意識の向上を図る。
- 学校保健委員会を通して、保護者と課題を共有し、改善対策に取り組む。

(4) ふるさとを誇りに思う児童の育成と開かれた学校づくり

- 地域教材・人材等を生かした総合的な学習の時間の推進を図る。
- 特色ある教育活動とふるさと学習の充実を図りながら推進するとともに、各活動での双方向のメッセージ交流を工夫し、家庭・地域と共通の目標に向かって取り組みを進める。
- 学校だより、学級だよりを創意工夫し、子どもの活動の様子・子どものよさを積極的に情報発信する。
- ホームページを活用し、旬な情報を発信する。

(様式4)

3. 評価項目の達成及び取組状況

| 評価項目 | 結果 | 理由 |
|--|-----------------|---|
| <p>(1) わかる授業の創造と確かな学力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単元計画、評価計画を立て、1時間単位で本時のねらいを達成できる授業づくりを推進する。 (B) (言語活動の充実を含める) ・ 算数の校内授業研究会を通して、共通実践していくことを確認し、授業力を向上させる。 A ・ 本時目標に応じて、効果的なペア学習・グループ学習を取り入れる。 A (B) ・ 情報機器を効果的に活用する (B) ・ 少人数指導、MIM指導、朝の活動、放課後学習等に取り組む。 (評価外) ・ 図書館利用を推進し、読書の習慣化を進め、授業への図書の活用を計画的に取り組む。 B ・ 「家庭学習の手引き」や「家庭学習がんばりカード」を活用する。 B <p>* (B)・・・Aに近いB</p> | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 校内研究では昨年までの国語科に替えて算数科の授業研究を進めた。国語科で育成した話し合う力を生かし本校児童の課題に向けて研究を進めた。算数研究は継続して取り組んでいたもので、それを土台とし研究を進めることができた。課題把握、周囲と関わりながら解決に向かう力、教師のコーディネート力、振り返りなどの共通実践に心がけた。それに加えて指導助言を生かし、学習の方向付けをする提示、できる喜びにつながる練習問題数、記録に残す評価等について、新たな共通実践課題として取り組んでいる。ねらいを明確にしたペア・グループ学習を意識し主体的に取り組む学習像を共通して目指すことができた。「授業研究会を授業力向上にいかした」ことへの教職員評価はほぼ全員がAの自己評価をしている。 ・ 児童アンケートでは、「学校の勉強はだいたいわかるか」については90%の児童が、「話し合うと勉強がよくわかるか」について90%の児童が肯定的に答えており、友だちと関わりながら学習するよさを感じながら取り組んでいることが分かる。 ・ 学習でのICT活用に努めた。活用する場面が増え、ICT支援員との連携を進めた。効果的だった活用実践を記録し、参考にし合うことができた。 ・ 「家庭学習がんばりカード」の取り組みでは、事前に学習計画を立てて進めるよう取り組んだ。内容をよく考える児童が増えた。家庭学習の定着に向けて、個別に配慮する取り組みなどを職員で話し合いをすることができた。全体として家庭学習の充実が図っていけるよう取り組みを続けた。 |
| <p>(2) 豊かな心の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仲間づくりに関する取り組み、実践を情報交換する。 (B) ・ 児童の身近にある課題に気づかせ、解決に向けた話し合いに取り組む。 (B) ・ 児童理解を進め、思いやりがある豊かな心を育成し、落ち着いた学校生活を目指す。そのための特別支援教育の研修を行う。 B ・ 全校集会（しおかぜ集会等）の取り組みや縦割り班活動を充実させる。 B | <p>B</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分たちの学級を振り返り、今取り組むべき課題を話し合っ決めて、振り返りながら次の課題に向かっていく取り組みを計画的に行った。教室の課題掲示だけでなく、全校で取り組むよう掲示をし、機会を捉えて全体に呼びかけ意識を高めながら取り組んだ。 ・ 児童の気になる姿をすぐ注意するのではなく、しっかりと児童の思いを受け取りながら対応をするよう、共有し、児童理解を基盤に指導を行った。 ・ 児童理解や児童のかかわり方について共有する研修会を設定し児童対応の共通理解を進めることができた。 ・ あいさつについては83%が、「あったか言葉」については96%が頑張っていると肯定的な自己評価をしている。意識としてかなり高まっていることは確かである。「あったか言葉」を合言葉として効果的に活用し、指導を継続していきたい。 |

(様式4)

| | | |
|--|-----------------|--|
| <ul style="list-style-type: none">・いじめの早期発見、早期対応をめざし、定期的にいじめに係る事例検討会を開く。 A・より良い言葉遣い、より良い関わりをめざす指導を進める。 A | | <ul style="list-style-type: none">・いじめの早期発見早期対応を目指し、組織的に取り組んでいる。定例のいじめ対策委員会を開き、全体で共通理解することで一貫した指導が来ている。継続して注意深く児童の関係を把握していきたい。・「学校が楽しい」について85%の児童が肯定的に答えている。一昨年、昨年と比較しても年次増加している。外遊び、学園の森の活用の奨励、全校活動の工夫等に取り組むことができた。・自他ともに大切にしたい、命・こころとからだを守っていかうとする態度を、今後一層取り組んでいく。交通安全、生活安全の意識高揚を一層図っていく。 |
| <p>(3) 健やかな体の育成</p> <ul style="list-style-type: none">・体力の向上を意識した体育の授業を行う。 (B)・体力作りへの意欲を高めるために、マラソン大会、縄跳び大会などに取り組む。 B・メディアとのよりよい関わりを目指し、家庭と協力して、学習、研修をする。 B・健康な体づくりに関心を持たせ、児童の基本的な生活習慣に関する意識を向上させる食育指導・保健指導を行う。 A・学校保健委員会等を通して保護者と課題を共有し、改善対策に取り組む。生活習慣についての指導を連携して行うよう情報発信する。 B | <p>B</p> | <ul style="list-style-type: none">・「日頃から運動（体を動かすこと）に心がけている」について83%の児童が肯定的に回答している。業間運動をしない中での体力向上の取り組みを工夫しているところである。体育学習で、体づくり運動としてサーキット運動を帯で取り入れる取り組みをした。徐々に体力が向上していると感じている。・外遊びを奨励したり、全員遊び等学級でも工夫したりすることで、しっかり体を動かす機会が増えた。普段の生活面で、運動に取り組めるよう体育館周辺にジャンプやろくぼく渡りのコーナーを設定し取り組んだ。・マラソン大会に向けて目標設定をして意識を高めたり、体育での長距離走に取り組んだりして進めた。体力の向上につながっている。・メディアとの関わり等について保護者啓発の研修会を設定することができた。保護者から参考になったと感想があった。学級懇談でも意見交換、情報交換ができた。・本年度も栄養教諭と養護教諭と連携して食育や健康指導を進めることができた。短時間指導ではあるがのべ約20回（食育）、約30回（健康指導）実践した。・ICTを活用して、生活アンケートを実施することで本年度の健康課題を明確にし、基本的な生活習慣の定着を図るよう取り組みを進めた。学校保健委員会資料、保健だより等で課題をもとにメディアチャレンジや、『ストレッチ』等の「家庭生活キーワード」を増やして呼び掛けをするなどの取り組みを進めた。親子での活動を工夫することへの意識が少しずつ高まっている。 |
| <p>(4) ふるさとを誇りに思う児童の育成と開かれた学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none">・地域とより深くつながるために、総合的な学習の時間の探究的活動を計画的に進め、充実に努める。 B・地域の施設や外部人材を活用し、特 | | <ul style="list-style-type: none">・地域の方との学習、地域に出かけていろいろ教えてもらう活動等計画的にたくさん取り入れることができた。泊ならではの体験活動も地域の方にお世話になり、取り組むことができた。地域の伝統芸能を取り入れた学習では、教科横断的な取り組みをした学年もあった。「地域施設や外部人材を活用し特色ある教育活動とふるさと教育を推進した」についての教職員アンケートでの評価は全員が肯定的評価 |

(様式4)

| | | |
|--|-----------------|--|
| <p>色のある教育活動とふるさと教育を推進する。 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流活動・学習ボランティアが参加された際は、必ず紹介しメッセージを伝え合うなどして、地域の方との関わりを広げる。 A ・学校だより、学級だよりを創意工夫し、子どもの活動の様子・子どものよさを積極的に情報発信する。 A | <p>A</p> | <p>であることから学習の工夫が分かる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数年来取り組みたいと考えていた「感謝集会」を3学期に開催することができた。1年間の地域の支援に対して、全校で共有することができた。来ていただいた方から改めてメッセージをいただき、つながりが深まったと感じた。児童からもメッセージやプレゼントを贈ることができ、今後につながっていくことを感じることもできた。 ・地域ならではの体験活動に取り組む際に、単なる体験に終わらず、活動に関わってくださった地域の人の思いや願いを受けとめたり、自分の想いや考えを伝えたりして交流をきちんと取り組めるよう今後も計画していきたい。キャリア教育とつなげていくことも大切だと考える。 ・ホームページの更新、学年・学級だよりの発行により子どもたちの頑張っている様子を地域、家庭に知らせることができた。 ・総合的な学習では「探究的活動」として一人一人の自己課題を明確にして取り組むと、地域との人・もの・こととの出会いが、子どもたちの育成により深くかかわるとらえて取り組みたい。 |
|--|-----------------|--|

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

| 結果 | 理由 |
|-----------------|--|
| <p>B</p> | <p>「わかる授業の創造と確かな学力の育成」「豊かな心の育成」「健やかな身体の育成」「ふるさとを誇りに思う児童の育成と開かれた学校づくり」の4つの柱を掲げ、それぞれの目指す姿や重点施策について職員4グループを編成し取り組みを進めた。授業力向上を目指し、授業研究会を通して共通実践することを明確にして進めた。指導助言を生かし、授業の重点を決めながら実践を進めた。人権教育を中核に据え、生活課題に気づき協力して改善に取り組むよう進めた。話し合い活動をし、掲示しながら取り組むことで課題意識を持つことができた。継続して取り組むことで仲間づくりが進んでいくと考える。体力向上にも心がけた。体育学習を中心とするが、学級経営の中でも体を動かすことを奨励しながら取り組むことができた。情報発信にも心がけた。地域の建物や産業、人材を生かしふるさとと関わりながら学習を進めることができていると感じている。双方向での学びを推進し、まとめとして感謝集会も設定することができた。</p> <p>課題としては、児童の特性・実態に応じた学習や生活指導の充実や、学校内や地域でのあいさつ、言葉遣い、児童の生活習慣等に課題がある。これらの課題に向けて、家庭、地域とも連携しながら取り組みを進めていきたいと考える。</p> |

◎「3・4」の評価結果の表示方法

| | |
|---|--------------------|
| A | 十分達成されている |
| B | 達成されている |
| C | 取り組まれているが、成果が十分でない |
| D | 取組が不十分である |

(様式4)

5. 今後取り組むべき課題 (継続して取り組む内容も含まれる)

| 課 題 | 具体的な取組方法 |
|---------------------------|---|
| (1) わかる授業の創造と 確かな学力の育成 | <ul style="list-style-type: none">○共通理解することを精選し、日々の授業での実践をさらに継続していく。・1時間(45分)で学習内容(目標)を達成できるような授業づくり。 休憩時間や放課後、宿題などに持ち越さず、習熟は授業の中で。 本時のねらいが達成できる具体的な支援を考えて授業に臨む。 (ヒント、キーワード、子ども同士の関わり合いなどで支援する)・子ども同士の学び合いを大切にする(個人差に対応し児童の活躍の場) そのためには「あたたかい人間関係づくり」が大切。 「人間関係づくり」を授業の中でもしていく。・全員が参加できる授業づくり(指導者側の授業改善) アウトプットする場面、活動の時間を設定する(仕掛けづくり)。 理由づけをした話し合いの設定。・式と答えだけでなく考え方や求め方と式を関連づけた説明を意識する。 ペア、グループ活動を継続、充実する(目的を明確にして)。 「2人1組で、この言葉を入れて、説明してみましょう。」など。・双方向での対話力をつける。ペアなどの少人数から学級全体へと広げていく。 <p>○来年度に向けて研究の内容を整理する。</p> <p>○ICT支援員さんとの学習連携に取り組む。ICTの実践を共有する。</p> <p>○研修を継続する。他校の研究会(県外も含む)に参加して学ぶ。</p> |
| (2) ゆたかな心の育成 | <ul style="list-style-type: none">○人権学習年計に沿った学習の積み上げを生活につなげるために・学習したこと、話し合ったことを掲示する。定期的に振り返る。点検する。 <p>○各学級の話し合い活動や仲間づくりについて、学年部会等で情報共有していく。</p> <ul style="list-style-type: none">・学年部会の話し合い項目に入れる。特別支援や生徒指導の次に人権教育についての項目を作ってもらおう。(話し合ったこと、今取り組んでいること、事例を教材化したこと等の情報交換、児童の実態を受けての取り組みについての相談等) <p>○職員連携でトラブル未然防止に努める。</p> <ul style="list-style-type: none">・休憩時間、担任は自分のクラスの子を中心に気を配る。・目が届きにくい場所(相談室、放送室の奥の部屋、体育館外トイレ周辺等)を、児童支援員に見回ってもらう。場所、見回る観点等は、校長先生より指示してもらう。 <p>○生活指導については、ルールを徹底し、全職員で同じように粘り強く指導をしていく。</p> <ul style="list-style-type: none">・登下校中の帽子やたすきを身に付けること。班長の登校班旗を持つこと。・その他のことも、意味を教えて守らせる。 <p>○なかよし班活動</p> <ul style="list-style-type: none">・3学期、大丈夫そうだったら、毎週のなかよし班掃除を再開する。・来年度、班ごとに各教室に集まって、リモートでの集会をしてはどうか。(児童会など)・来年度はまだ無理かもしれないが、コロナが収まったら、なかよし班給食も復活してほしい。 |

(様式4)

| | |
|-------------------------------|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・自他ともに大切にする態度、命、心と身体を大切にする実践力の育成 |
| (3) 健やかな体の育成 | <ul style="list-style-type: none">○体育学習にサーキット運動を継続的に取り入れる。<ul style="list-style-type: none">・サーキット運動は継続して行う。・体力テストの結果によっては重点を変更していく。○縄跳びなど体づくり運動を入れた体育学習での体力づくりをする。<ul style="list-style-type: none">・なわとび週間に向けて取り組む。・チャレンジカードを活用して、目標を持って取り組ませる。○学級で、外遊びを定期的に取り入れる（全員遊びなど）など、体力づくりを意識した取り組みや生活を心がける。<ul style="list-style-type: none">・朝の会で今月の歌を聞いている時に、聞きながらストレッチを行う。○学校保健委員会と連携した取り組みをする。<ul style="list-style-type: none">・早寝早起き朝ごはんメディアの指導やチャレンジ習慣に取り組み、その後生活アンケートを実施した結果を学校保健委員会で報告する。○校庭のポイント整備<ul style="list-style-type: none">・校庭を正確に測量してトラックのポイントを打つ。・トラックに生えているわかめのような藻類を除去する。・砂場の芝生化を防ぐ。 |
| (4) ふるさとを誇りに思う児童の育成と開かれた学校づくり | <ul style="list-style-type: none">○社会、生活、総合的な学習の時間などの地域学習について記録し、今後の参考資料とする。<ul style="list-style-type: none">・年計の中に「お世話になった方の名前」「見学先」「電話番号」などをメモしていく。○「探究的活動」を取り入れ、地域と深くかかわる学びとなるよう計画的に取り組む。○お世話になったボランティア活動の振り返りをする。<ul style="list-style-type: none">・ボランティア感謝集会を開く。・校長室前の経緯を充実させる。○お便りやホームページでの情報発信の継続する。 |